

## 平成 30 年度長岡市総合防災訓練の概要

### 1 目的

平成 30 年度は、「中越大震災」及び「7.13 水害」から 14 年を迎える。

長岡市は、度重なる大規模災害により甚大な被害を受けたが、時の経過とともに、人々の記憶から忘れ去られようとしている。

今回の総合防災訓練は、過去の体験や教訓を踏まえ、防災教育・活動の一環として次世代を担う小学生と地域住民が一体となって、各種訓練を実施する。

また、各自主防災会（町内会）においては、関係防災機関との連携強化を図り、地域における防災上の問題点を検証し、更なる地域防災力の強化及び防災意識の向上を図ることを目的とする。

### 2 訓練日時

平成 30 年 10 月 21 日（日曜日） 午前 8 時から午前 11 時 30 分まで

### 3 訓練会場

長岡市立希望が丘小学校、長岡市希望が丘コミュニティセンター

### 4 想定

平成 30 年 10 月 21 日（日）午前 7 時 50 分、新潟県中越地方を震源とするマグニチュード 6.8 の地震が発生し、長岡市では震度 6 強を観測した。

長岡市の各地域においては、倒壊家屋、がけ崩れ、道路の崩落による孤立集落の発生や河道閉塞により土砂ダム等が発生した。

希望が丘地区では、住宅の倒壊や路面崩壊、ライフライン等への被害が生じた。

長岡市は、午前 8 時 00 分に本庁及び各支所に災害対策本部を設置し、全住民に対して避難勧告を発令した。

### 5 主催

長岡市

### 6 参加機関・団体

#### (1) 地元関係者

ア 希望が丘地区（一部、他地区を含む）の各自主防災会（町内会）、民生・児童委員 約 330 人

イ 長岡市立希望が丘小学校児童 396 人（平成 30 年 5 月 1 日現在）

#### (2) 防災関係機関等（順不同）

国土交通省北陸地方整備局（信濃川河川事務所、国営越後丘陵公園事務所、長岡国道事務所、北陸技術事務所）、陸上自衛隊第 2 普通科連隊、新潟県、新潟県警察、日本赤十字社新潟県支部、新潟県赤十字安全奉仕団長岡市分団、長岡アマチュア無線赤十字奉仕団、東日本電信電話(株)新潟支店、(株)ドコモ C S 新潟支店、東北電力(株)長岡営業所、北陸ガス(株)長岡支社、長岡移動電話システム(株)〈FMながおか〉、(株)スノーキャスト、損害保険ジャパン日本興亜(株)長岡支店、(公社)中越防災安全推進機構、チーム中越／長岡協働型災害ボランティアセンター（(公社)中越防災安全推進機構、(福)長岡市社会福祉協議会）、(福)長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園、(NPO)住民安全ネットワークジャパン、長岡市食生活改善推進委員協議会、長岡助産師会、中越市民防災安全士会、長岡地区生コ

ン事業協同組合、(大)長岡技術科学大学

- (3) 長岡市  
危機管理防災本部、原子力安全対策室、都市整備部、福祉保健部、子ども未来部、  
消防本部、消防団長岡川西方面隊

## 7 訓練項目

- (1) 緊急情報伝達訓練
- (2) 住民避難訓練
- (3) 被害情報収集等訓練
- (4) 段ボール製更衣室兼授乳室等設置訓練
- (5) 原子力防災出前講座 ※
- (6) 地震体験訓練
- (7) 降雨体験訓練
- (8) 濃煙体験訓練
- (9) 火災防ぎょ訓練
- (10) 初期消火訓練
- (11) 積み土のう工法による水防訓練
- (12) 応急手当・救護訓練
- (13) 災害時用公衆電話の設置及び災害用伝言ダイヤル等による安否確認訓練
- (14) 移動式ガス発生装置による都市ガスの復旧訓練
- (15) 災害時に役立つ調理実習
- (16) 日赤出前講座 (防災カルタ)
- (17) 防災紙芝居・ジャッキアップゲーム
- (18) 防災気象予報教室
- (19) 防災迷路
- (20) 住宅の耐震構造化教室
- (21) 子育て世代の災害への備え講座
- (22) 災害用特殊車両及び救助用資機材等の展示
- (23) 防災資機材及びパネルの展示
- (24) 福祉避難室開設訓練 ※

(注) ※印は、今年度、新たに実施する訓練項目及び昨年度に実施しなかった訓練項目である。

## 8 その他

当日、実災害及び天候等の状況により、訓練の全部または一部を中止、若しくは変更する場合がある。

担当：長岡市危機管理防災本部 電話 0258-39-2262 (直通)
--

## 平成30年度 長岡市総合防災訓練の実施項目

訓練項目	訓練内容	参加機関
1 緊急情報伝達訓練	緊急告知FMラジオ、携帯電話メールで災害発生等の情報を住民に伝達を行う。	(NPO)住民安全ネットワークジャパン、FMながおか、危機管理防災本部、自主防災会
2 住民避難訓練	各自主防災会は、避難経路、危険箇所を確認し、地域住民とともに避難所に避難する。	自主防災会、小学校
3 被害情報収集等訓練	パトロールカー、消防車両等により被害状況等を調査し、災害対策本部に報告する。また、住民避難後の防犯パトロール等を行う。	県警察、消防本部、消防団、長岡アマチュア無線赤十字奉仕団、中越市民防災安全士会
4 段ボール製更衣室兼授乳室等設置訓練	施設管理者と自主防災会が協力して、段ボール製更衣室兼授乳室などを設置する。	自主防災会、危機管理防災本部
5 原子力防災出前講座	原子力安全対策等の出前講座及び児童を対象に放射線に関する体験学習を行う。	長岡技術科学大学、原子力安全対策室、自主防災会、小学校
6 地震体験訓練	地域住民及び児童が地震体験車により地震を体験する。	危機管理防災本部、自主防災会、小学校
7 降雨体験訓練	降雨体験装置による土砂、洪水等の災害を引き起こす降雨を体験する。	北陸地方整備局、自主防災会、小学校
8 濃煙体験訓練	特設テントの中で人工的に濃煙を発生させ、避難方法等を体験する。	消防本部(予防課)、自主防災会、小学校
9 火災防ぎょ訓練	消防本部、消防団が連携し、一斉放水訓練を行う。	消防本部、消防団、長岡地区生コン事業協同組合
10 初期消火訓練	地域住民及び生徒による消火器を用いた初期消火訓練を行う。	消防本部(予防課)、消防団、自主防災会
11 積み土のう工法による水防訓練	地域住民及び消防団が協力して土のうを作製し、積み土のう工法を実践する。	消防団、自主防災会
12 応急手当・救護訓練	救護に関する知識や技術を習得するため、地域住民及び生徒が応急手当やAEDを含む救命処置訓練を行う。	消防団広報分団、中越市民防災安全士会、自主防災会
13 災害時用公衆電話の設置及び災害用伝言ダイヤル等による安否確認訓練	衛星回線を用いた災害時用公衆電話による「災害用伝言ダイヤル171」や、災害用伝言板を活用した、家族、親戚等の安否確認訓練や、パネル展示を行う。	東日本電信電話(株)新潟支店、(株)ドコモCS新潟支店、自主防災会、小学校
14 移動式ガス発生装置による都市ガスの復旧訓練	プロパンガスを移動式ガス発生装置により都市ガス用調理器具で使えるように調整する。 「一般家庭のガスマイコンメーターの復旧取扱い訓練」	北陸ガス(株)、自主防災会
15 災害時に役立つ調理実習	行政機関と大学生ボランティア、小学生が協力し、災害時にポリ袋で簡単に作れるパッククッキングの調理及び試食を行う。	長岡地域振興局地域保健課(長岡保健所)、長岡市食生活改善推進委員協議会、小学校
16 日赤出前講座(防災カルタ)	防災カルタを用いて、防災について楽しく学ぶ。	日赤新潟県支部、新潟県赤十字安全奉仕団長岡市分団、小学校
17 防災紙芝居・ジャッキアップゲーム	災害時の「自助」と「共助」の大切さについて、紙芝居やゲームを通して学ぶ。	損害保険ジャパン日本興亜(株)長岡支店、小学校
18 防災気象予報教室	近年多発するゲリラ豪雨災害等の予兆を学ぶ防災気象予報教室を開催する。	(株)スノーキャスト、小学校
19 防災迷路	災害時に慌てずに行動できるように、防災カードを収集しながら考え、木製迷路のゴールを目指す。	(公社)中越防災安全推進機構、小学校

20	住宅の耐震構造化教室	地震に強い家の構造を学ぶ教室を開催する。	市都市整備部、自主防災会
21	子育て世代の災害への備え講座	子育て世代の地域住民に対し、災害時に子供を守るための取り組みなど、助産師ならではの視点で災害への備えについて講座を行う。	長岡助産師会、自主防災会
22	災害用特殊車両及び救助用資機材等の展示	災害時に活動する警察車両等の特殊車両や、救助用資機材及びパネル等の展示を行う。	陸上自衛隊、県警察、消防本部、東北電力(株)
23	防災資機材及びパネルの展示	防災関係機関が撮影した災害事象等の写真パネル及び防災資機材の展示を行う。	北陸地方整備局、長岡地域振興局、市子ども未来部、日赤新潟県支部、チーム中越、(NPO)住民安全ネットワークジャパン
24 ※	福祉避難室開設訓練	高齢者等の要配慮者のための福祉避難室の開設を想定し、段ボールベッド等の設置訓練や福祉避難室の制度の解説を行う。併せて、災害時応援協定に基づき、要配慮者の緊急入所施設への搬送訓練を行う。	市福祉保健部、(福)長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園、民生委員、自主防災会

(注) ※は、今年度、新たに実施する訓練項目及び昨年度に実施しなかった訓練項目である。